

---

# IBM i PTF インストール説明書

IBM i 累積 PTF パッケージ  
インストール説明書  
SF99720 レベル 19123  
パッケージ ID: C9123720  
バージョン 7 リリース 2.0

累積 PTF パッケージ説明書 最終更新日: 2019/05/17

注: この資料は、オンライン版がマスターです。印刷されたものは最新版でない可能性がありますので、最終更新日がオンライン版のマスターと一致しない場合は使用しないでください。

この資料に記載されている情報は、この累積 PTF パッケージが利用可能になった時点の内容です。最新の情報 (必要な場合は、より詳細なインストール手順のバージョンを含む) を入手されることをお勧めします。最新の情報は、次の URL にあります。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas8N1021657>

PSP SF98720 には、この累積 PTF パッケージに含まれていない HIPER PTF や、このパッケージのリリース後に見つかった障害の PTF のリストがあります。

次の 3 つのフォーマットの累積 PTF パッケージから 1 つを選択します。

- 個々の PTF 保管ファイルとして電子的にダウンロードする
- 光イメージ・ファイルとして電子的にダウンロードする
- 物理的な CD メディア (電子的にダウンロードできない場合)

この文書のインストール手順では、それぞれのフォーマットに必要なインストール手順を説明してあります。

## PTF カバー・レターの確認

すべての PTF のオーダーに関して、必ず PTF をインストールする前に、提供される各 PTF のカバー・レターに目を通し、ご使用のシステムに該当する特別な指示事項をご確認ください。お客様が累積 PTF パッケージをオーダーされた際には、自動的に最新の HIPER PTF グループおよびデータベース PTF グループが、累積 PTF パッケージと一緒に送付されております。お客様は、これらの PTF グループの中で、ご使用のシステムに適用される PTF のカバー・レターをお読みいただく必要があります。PTF カバー・レターのコピーや印刷 (または表示) を行うために必要なコマンドは、下記に記載されています。

1. PTF カバー・レターをコピーするには:

- PTF の入ったメディアをマウントし、QSECOFR などの機密保護担当者ユーザー・プロファイルでサインオンしてください。
- まだシステムに適用されていない PTF のカバー・レターをメディアからシステムにすべてコピーするには、次のコマンドを実行します。

```
CPYPTFCVR DEV(device_name) LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY)
```

- 特定のカバー・レターをメディアからシステムにコピーするには、次のコマンドを実行します。

```
CPYPTFCVR DEV(device_name) LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id)
```

## 2. PTF カバー・レターを表示または印刷するには:

- PTF カバー・レターを表示、または印刷を行う前に、メディアからコピーする必要があります。
- 現在システムに適用されていないすべての PTF のカバー・レターを表示、または印刷するためには、以下のコマンドを実行します。

```
DSPPTFCVR LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY)
DSPPTFCVR LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY) OUTPUT(*PRINT)
```

注: DSPPTFCVR コマンドに CVRATR(\*SPCINST) パラメーターを指定して、特別な指示があるカバー・レターをすべて表示することもできます。

- 特定のカバー・レターを表示または印刷するためには、次のコマンドを実行してください。

```
DSPPTFCVR LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id)
DSPPTFCVR LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id) OUTPUT(*PRINT)
```

- PTF TC19123 は累積 PTF パッケージのカバー・レターであり、この累積 PTF パッケージに入っているすべての PTF のリストを含んでいます。累積 PTF パッケージのカバー・レターを表示するには、次のいずれかのコマンドを入力してください。

```
DSPPTFCVR LICPGM(5770SS1) SELECT(TC19123)
DSPPTFCVR LICPGM(5770SS1) SELECT(TC19123) OUTPUT(*PRINT)
```

## 3. 新規 - 累積パッケージまたはグループ内の PTF についての特別な指示事項を、以下のうちのご都合の良い形式でオンラインで確認することもできます。

- 累積パッケージ: <http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas4C9123720>
- HIPER PTF グループ: [http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas4SF99719\\_SI](http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas4SF99719_SI)
- データベース PTF グループ: [http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas4SF99702\\_SI](http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas4SF99702_SI)

## 注意事項

1. 以下の指示事項に従わないと、システムが作動しないことがあります。累積 PTF パッケージを導入するたびに注意深く指示に従ってください。
2. 累積 PTF パッケージは、適切な PTF の導入後に導入する必要があります。このパッケージを導入する際にすぐに適用するオプションを使用しないでください。使用すると、予測できない結果が生じることがあります。
3. PTF 重要情報: この累積パッケージのPTF を適用した場合に、IBM®トランスレーターで生成されていないシステム・メモリー・アドレスを使用するような非効率なプログラムや、対話型処理能力を購入時レベルに制限する制御技術を回避するプログラムが、使用できなくなる可能性があります。これらの PTF は、将来別の PTF の前提条件になる可能性があります。これらのPTF を適用する場合、お客様は以上のことを認め、同意されたものとしします。
4. これらのPTF はすべて、適用されるプログラムに付帯する、もしくは含まれている、使用許諾契約書の対象となります。有効なライセンス証書を保持するプログラムの一部としてPTF を使用する以外に、これらのPTF をインストールもしくは使用することは認められておりません。

強行法規がある場合を除き、また、該当する使用許諾契約書あるいは該当するサポート契約書において明示的に合意されている場合を除き、IBM は、PTF について、法律上の瑕疵担保責任を含め、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証を含む明示もしくは黙示のいかなる保証責任も負わないものとしします。

適用される使用許諾契約書は、印刷物として提供されているか、もしくは「ソフトウェア契約の処理 (WRKSFWAGR)」 CL コマンドを使用して表示することができます。

5. 製品がインストールされていて、PTF (またはその置き換え PTF) がまだ適用されていない場合は、このパッケージに入っている以下の PTF についての特別な指示事項をご確認ください。注: PTF のカ

バー・レターは以下で参照できます。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas3PPPPPPP> (ここで、PPPPPPP は PTF 番号です)。

5761DP4-SI36668  
5770HAS-SI57302

6. Content Manager OnDemand - 5770RD1 - ユーザーに対する重要な注意事項: Content Manager OnDemand - 5770RD1 - をインストールした場合は、重要かつ特別な指示事項の記載がないか、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21427866> を確認してください。
7. 重要 - 光メディアからの PTF のロードが失敗しないように、この累積 PTF パッケージをインストールする「前」に、PTF MF58615 がアクティブになっている必要があります。コマンド DSPPTF LICPGM(5770999) SELECT(MF58615) を入力して、PTF MF58615 がアクティブかどうかを判別してください。状況が「一時的に適用済み」または「永続的に適用済み」の場合は、PTF はアクティブです。状況が「置き換え済み」の場合は、置き換えるPTFが「一時的に適用済み」または「永続的に適用済み」であることを確認します。PTF MF58615 が見つからないか非アクティブな場合、この累積 PTF パッケージをインストールする「前」に、MF58615 を保管ファイルとして電子的にダウンロードし (SNDPTFORD または Fix Central のオプション「個別のフィックスをダウンロード」経由)、それを Device \*SERVICE からインストールします。MF58615 は即時 PTF であり、必要条件はありません。
8. EXP24S SFF Gen2-Bay ドロワー (フィーチャー #5887) が接続されているシステムの場合は、すべて、以下を参照してください。  
<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas8N1020265>
9. この累積PTF パッケージを物理的なCD メディアとして受け取った場合は、メディアからイメージ・カタログを作成して仮想光ディスク装置からPTF のインストールを行うことを強くお勧めします。これによりPTF のインストール中に複数のIPL の実行を回避できる場合があります。
10. この累積 PTF パッケージのインストール時間は、ハードウェア構成によっておよそ 1 ~ 2 時間です。
11. このパッケージを適用する前に、現行システムのバックアップをとっておく必要があります。最後に PTF をインストールした以降に、システムのバックアップがとられていれば、そのバックアップを使用できます。
12. A ストレージ領域で実行している場合、B IPL ソースから通常の IPL を実行します。実行元のストレージ領域を判別するには、DSPPTF 5770999 と入力して Enter キーを押します。「PTF 状況表示」画面の IPL ソースのフィールドにストレージ領域が示されます。##MACH#A は A ストレージ領域、##MACH#B は B ストレージ領域です。
13. 制御パネルで IPL モードが通常 (N) に設定されていることを確認してから、QSECOFR などの機密保護担当者ユーザー・プロファイルでサインオンします。
14. どの手順もいったん開始したらキャンセルしないでください。各手順が正常に完了するようにしてください。
15. ご使用の累積 PTF パッケージのフォーマットに合わせて、以下のインストール手順から適切なものを選択してください。
16. 注意 - エレクトロニック・サービス・エージェント (ESA) または マネジメント・セントラル (MGTC) を使用する場合は、このパッケージをインストールする前に、5770JV1 オプション 16 (JDK 8.0 32 ビット) および 5770JV1 オプション 17 (JDK 8.0 64 ビット) をインストールする必要があります。それらのオプションの入手方法および Java PTF グループ (SF99716) の要件については、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas8N1020692> を参照してください。

17. PTF のインストール処理中に、事前に以下の PTF が自動的に適用されます (適用可能な場合):  
5770999-MF64784、5770999-MF64476、5770999-MF64228、5770SS1-SI65024、5770SS1-SI64731、および 5770SS1-SI69061。注: 手動で事前に適用する必要のある PTF は、この『注意事項』セクションの最初の方にリストされています。

## \*SERVICE からのインストール

累積 PTF パッケージを個々の PTF 保管ファイルとして電子的に受け取った場合、『\*SERVICE からのインストール』セクションで詳細なインストール手順を参照してください。

## 光イメージ・ファイルからのインストール

この手順は、光イメージ・ファイルとして累積 PTF パッケージをオーダーして電子的に受け取った場合に使用してください。

1. イメージ・カタログを作成して、イメージ・ファイルをカタログに追加します。イメージ・カタログの作成方法については、IBM Knowledge Center:  
[http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ssw\\_ibm\\_i\\_72/rzam8/rzam8fixinstallimage.htm](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ssw_ibm_i_72/rzam8/rzam8fixinstallimage.htm)  
(IBM i 7.2>IBM i および関連ソフトウェア>IBM i および関連ソフトウェアの保守管理>ソフトウェア修正の使用>修正のインストール>ステップ 3: 修正のインストールのシナリオを選択する>イメージ・カタログからの IBM i 修正のインストール) を参照してください。

2. 次のコマンドを使用して、イメージ・カタログを仮想光ディスク装置にロードします。

```
LODIMGCLG IMGCLG(ptfcatalog) DEV(OPTVRTxx) OPTION(*LOAD)
```

3. コマンド行に GO PTF と入力し、Enter キーを押します。
4. メニューで、オプション 8 を選択し、Enter キーを押します。
5. 「PTF 導入の続行 (Continue PTF Install)」画面が表示されたら、Enter キーを押します。
6. 下記のオプションが適切かどうか確認し、下記の「注」をよくお読みいただいた上で、「プログラム一時修正の導入オプション」画面でオプションを入力し、Enter キーを押します。

```
装置. . . . . OPTVRTxx (例えば、OPTVRT01)  
自動 IPL. . . . . Y = YES または N = NO  
媒体のプロンプト. . . . . 1 または 3  
再始動タイプ. . . . . *SYS  
その他オプション. . . . . Y = YES
```

注: 個別の PTF および/または PTF グループが保管ファイルとして出荷されていて、累積 PTF パッケージと同時にインストールする場合は、「媒体のプロンプト」のフィールドに 3 を入力します。

7. 下記のオプションが適切かどうか確認し、その下の「注」をよくお読みいただいた上で、「その他の導入オプション」画面でオプションの入力を完了し、Enter キーを押します。

```
PTF の省略. . . . . N = NO または Y = YES  
適用のタイプ. . . . . 1 = すべての PTF を遅延にセット  
PTF タイプ. . . . . 1 = すべての PTF  
PTF のコピー. . . . . N = No または Y = Yes
```

注: 前のオプション指定によっては、表示されないフィールドがあるかもしれません。

注: 省略したい PTF がある場合は、「その他のオプション」フィールドに Y を入力し、続いて表示される画面の指示に従ってください。PTF を省略するインストール手順の詳細については、Appendix A のセクションをご参照ください。

8. 画面に、PTF が適用されるライセンス・プログラム名が表示されます。イメージ・カタログにロードされたすべてのボリュームが、自動的に処理されます。
9. 「インストール・プロセスを完了する」のセクションに進みます。

## CD メディアからのインストール

この手順は、物理的な CD メディアとして累積 PTF パッケージをオーダーして受け取った場合に使用してください。

1. 次のコマンドを入力して、Enter キーを押します。

```
CHGMSGQ QSYSOPR *BREAK SEV(70)
```

このステップにより、次のボリュームのマウントが必要であることをシステムが感知した時に、必ず中断メッセージが表示されるようになります。重要 -- システムに適用できる PTF が残りのボリュームにない場合は、他のボリュームのマウントを求めるプロンプト画面は表示されません。

2. 使用しているメディア用の適切なドライブに、C9123720\_01 というラベルの付いた累積 PTF パッケージ・メディアのボリューム 1 がロードされていることを確認してください。
3. コマンド行に GO PTF と入力し、Enter キーを押します。
4. メニューで、オプション 8 を選択し、Enter キーを押します。
5. 「PTF 導入の続行 (Continue PTF Install)」画面が表示されたら、Enter キーを押します。
6. 下記のオプションが適切かどうか確認し、下記の「注」をよくお読みいただいた上で、「プログラム一時修正の導入オプション」画面でオプションを入力し、Enter キーを押します。

```
装置. . . . . OPTxx (例えば、OPT01)
自動 IPL. . . . . Y = YES または N = NO
媒体のプロンプト. . . . . 2 または 3
再始動タイプ. . . . . *SYS
その他オプション. . . . . Y = YES
```

注: 累積 PTF パッケージとともに HIPER およびデータベース PTF グループをインストールするには、「媒体のプロンプト」のフィールドに 2 を入力します。

個別の PTF および/または PTF グループが保管ファイルとして出荷されていて、累積 PTF パッケージと同時にインストールする場合は、「媒体のプロンプト」のフィールドに 3 を入力します。

7. 下記のオプションが適切かどうか確認し、その下の「注」をよくお読みいただいた上で、「その他の導入オプション」画面でオプションの入力を完了し、Enter キーを押します。

```
PTF の省略. . . . . N = NO または Y = YES
適用のタイプ. . . . . 1 = すべての PTF を遅延にセット
PTF タイプ. . . . . 1 = すべての PTF
PTF のコピー. . . . . N = No または Y = Yes
```

注: 前のオプション指定によっては、表示されないフィールドがあるかもしれません。

注: 省略したい PTF がある場合は、「その他のオプション」フィールドに Y を入力し、続いて表示される画面の指示に従ってください。PTF を省略するインストール手順の詳細については、Appendix A のセクションをご参照ください。

8. 画面に、PTF が適用されるライセンス・プログラム名が表示されます。
  - a. 各 CD ボリュームの処理が終了するたびに、次の CD をマウントするようにメッセージが表示されます。指示されたボリュームをマウントして、処理を続行するためにオプション G を入力してください。
  - b. 累積 PTF パッケージの適用可能なボリュームすべての処理が終了すると、自動的に、HIPER およびデータベース PTF グループをインストールするための次のメディア・セットの最初のボリュームをマウントするようメッセージが表示されます。ボリューム・セットの最初のボリュームをマウントして、処理を続行するためにオプション G を入力してください。

- c. 他のボリュームがあれば、同じようにしてマウントをしてください。ボリューム・セットのすべての処理が終了したら、PTF のインストールを終了するためにオプション X を入力してください。

注: ご使用のシステムに適用できる PTF がボリュームに含まれていない場合、システムはボリュームのマウントを要求するプロンプトを表示しません。

9. 「インストール・プロセスを完了する」のセクションに進みます。

## インストール・プロセスを完了する

この手順でインストール・プロセスを完了してください。

1. 「PTF インストール完了に対する IPL の確認 (Confirm IPL to Complete PTF Install)」の画面が表示されたら、以下を実行します。
  - a. システム上のすべてのジョブを終了し、B IPL ソースに対して通常モードの IPL を実行します。光イメージ・ファイルからインストールしている場合は、次の通常 IPL の完了後まではイメージ・カタログを削除しないでください。
  - b. 「サインオン」画面が表示されたら、ステップ 4 を続行します。
2. 「技術更新 PTF のための IPL の確認 (Confirm IPL for Technology Refresh PTFs)」画面が表示されたら、以下を実行します。
  - a. F10 キーを押してシステム上のすべてのジョブを終了し、IPL を実行します。注: IPL をすぐに実行できない場合は、F12 を押して、プロセスをキャンセルします。できるだけ早い時期にシステムの IPL をスケジューリングしてください。
  - b. 「サインオン」画面が表示されたら、戻ってこの累積 PTF パッケージのインストールを再度開始してください (次回これらの手順を実行する際には、この画面は表示されません。)。CD メディアからインストールしている場合は、『CD メディアからのインストール』セクションの手順 1 から再度開始してください。
3. 「自動 IPL オプション」に Y (YES) を入力した場合、システムは自動的に IPL を実行します。「自動 IPL」フィールドに N (NO) を入力した場合は、修正をアクティブにする準備ができたなら、次のコマンドを使用する必要があります。

PWRDWN SYS OPTION(\*IMMED) RESTART(\*YES) IPLSRC(B)

4. IPL が完了した後で以下の手順を実行して、累積 PTF パッケージが正しくインストールされたことを確認してください。
  - a. QSECOFR などの機密保護担当者ユーザー・プロファイルを使用してサインオンします。
  - b. 任意のコマンド行に WRKPTFGRP SF99720 と入力します。
  - c. 「状況」フィールドが「インストール済み」で、「レベル」フィールドが「19123」の場合は、ステップ 5 (7 ページ) に進みます。そうでない場合は、ステップ 4d に進みます。
  - d. 任意のコマンド行に GO LICPGM と入力します。
  - e. Enter キーを押します。「ライセンス・プログラムの処理」画面が表示されます。
  - f. オプション 50 を選択します。
  - g. Enter キーを押します。「導入履歴の表示」画面が表示されます。
  - h. Enter キーを押します。「活動記録ログの内容の表示」画面が表示されます。
    - 累積 PTF パッケージが正常にインストールされた場合には、PTF の適用が完了したことを示すメッセージが表示されます。ステップ 5 (7 ページ) に進みます。
    - 累積 PTF パッケージが正常にインストールされなかった場合には、PTF の適用が失敗したことを示すメッセージが表示されます。お客様のソフトウェア・サービス提供者 (弊社ビジネス・パートナーまたは弊社営業担当員) にご相談ください。

- 前回の IPL で異常があった場合には、ライセンス内部コードの PTF のみ適用されます (5770999)。次のコマンドを入力して、前回の IPL で異常があったかどうかをチェックすることができます。

```
DSPSYSVAL SYSVAL(QABNORMSW)
```

IPL で異常があつて、システム・インストールの直後にこのパッケージをインストールした場合には、残りの PTF を適用するためにもう一度 IPL を実行してください。

5. この時点で、通常のシステム操作を再開することができます。できるだけ早い時期に、もう一度システムのバックアップをとります。

これらの累積 PTF パッケージについてご意見および問題がございましたら、ソフトウェア・サービス提供者 (弊社ビジネス・パートナーまたは弊社営業担当員) にご連絡ください。